

粟津駅周辺地区(二期)

(石川県小松市)

- 計 画 期 間 令和4年度～令和8年度
- 面 積 27ha
- 交付対象事業費 1,515 百万円
- 市人口 106,544 人

ポイント 粟津駅周辺の利便性向上による南部地域
拠点としての賑わいの創出

地区概要 粟津駅東西の交通アクセス機能の強化や駅前広
場空間の拡充整備などの整備を行うことにより、
都市機能の充実と粟津駅周辺地区の活性化を図
る。

- 目 標**
- ①交通結節機能の強化 ・ ・ ・ 駅東西広場の整備と移動円滑化により、駅周辺の乗継ぎ利便性の向上やバ
リアフリー空間の創出など、駅を中心とした交通結節機能の強化を図る。
 - ②安全安心な環境づくり ・ ・ ・ 人々が集い賑わう魅力的な駅前空間の創出とともに、駅周辺の交通危険箇所の
改善により、駅周辺市街地の安全安心な環境づくりを図る。
 - ③賑わいの創出 ・ ・ ・ 駅東西の連携強化とともに新たな観光動線の形成により、多様な人々の交流
を促進し、駅前商店街などの粟津駅周辺地域の賑わいを創出する。

指 標

居住・交流人口の拡大、粟津駅の交通結節機能の充実及び駅周辺商店街の魅力アップを図るための指標として、それぞれ、地域の人口、粟津駅利用者数、商店街の歩行者数を設定した。

粟津駅周辺地域の人口	4,497 人 (R2)	→	4,580 人 (R8)
粟津駅利用者数	2,589 人/日 (R1)	→	2,680 人/日 (R8)
粟津地区商店街歩行者数	847 人/日 (R1)	→	960 人/日 (R8)

事業内容

基幹事業 (1,500 百万円) → 連絡通路 (延長 90m)、広場 (2 箇所:3,600 m²、2,900 m²)、自転車駐車場 (1 箇所)、情報板

提案事業 (15 百万円) → レンタサイクル利用促進、交通社会実験、事業実施効果調査



地区の現況と課題

粟津駅周辺地区は、(株)コマツ粟津工場や関連工場が集積する工業団地、ジェイバス本社・小松工場などがあり、南加賀地域の産業の中心として栄え、粟津駅と工場群の周辺に住宅地・商店街が広がっている。また、魅力あふれる自然景観が広がる木場潟や粟津温泉への玄関口として、現在も小松市南部地区における拠点市街地を形成している。

しかし、人口減少・高齢化の進行、商店・事業者の減少により、粟津駅周辺の交流拠点としての賑わいが失われてきている。また、駅西側へのアクセス路が駅から遠く、駅東西の市街地の均衡ある発展が課題となっている。

こうした中で、平成 30 年に粟津駅西土地区画整理事業が完了し、令和 2 年に公立小松大学の粟津キャンパスが開学するなど、粟津駅周辺において、都市機能の集積が図られており、これを契機に駅周辺の交通結節機能の強化を図り、駅の利用者数の増加や周辺の活性化を目指して「国際都市こまつ」を発信するための更なる整備・活動を行い、賑わいの創出を図ることが求められている。

提案事業の特徴

交通社会実験

駅東広場の交通危険個所の改善に向け、ラウンドアバウトに関する交通社会実験を実施。

レンタサイクル利用促進

粟津駅周辺の観光施設（木場潟・粟津温泉等）への交通手段や粟津駅の利用促進のため、レンタサイクルへの助成。

計画策定プロセス

粟津駅周辺を考える会

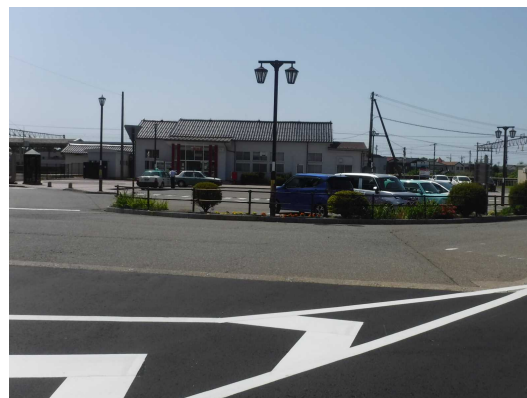
粟津駅周辺地区においては、平成 24 年に「粟津駅周辺整備協議会・粟津駅周辺を考える会」のもと、符津町（粟津駅前地区）、養輪町、松生町、粟津駅前商工会により、地域住民間の意見交換を行い、住民ニーズを把握しながら官民一体となった駅周辺整備基本計画を策定しており、本都市再生整備計画の事業内容に反映している。



地区の現況（駅東側）



地区の現況（駅西側）



地区の現況（駅舎前）